

雲をつかむ死

DEATH IN THE CLOUDS

1992年作品

製作:ブライアン・イーストマン

監督:スティーブン・ウイティカー

脚色:ウィリアム・ハンブル

日本語版プロデューサー:里口 千

日本語版演出:山田 悦司

日本語版翻訳:宇津木 道子

出演:

エルキュール・ポワロ … デビッド・スーシェ/熊倉 一雄

ジャップ主任警部 … フィリップ・ジャクソン/坂口 芳貞

※ ※ ※

ジェーン・グレイ … セーラ・ウッドワード/高島 雅羅

ノーマン・ゲール … ショーン・スコット/田中 秀幸

レディー・ホーバリ … キャスリン・ハリソン/戸田 恵子

ホーバリ卿 … デビッド・ファース/伊藤 和晃

ベネシア・カー … アマンダ・ロイル/梨羽 由記子

フルニエ警部 … リチャード・アイルソン/塚田 正昭

アン … ジェニー・ダウンナム/勝生 真沙子

マダム・ジゼル … イヴ・ピアース/島 美弥子

ダニエル・克蘭シー … ロジャー・ヒースcott/大木 民夫

ジャン・デュボン … ガイ・マニング/鈴置 洋孝

エリーズ … ガブリエル・ロイド/浅井 淑子

ミッチェル … ジョン・ブレースデール/有本 欽隆

レイモンド・バラクラフ … ハリー・オードリー/曾我部 和恭



©ITV Studios Limited 1993

休暇を楽しんだポワロが乗った飛行機内で、金貨しのマダム・ジゼルが死んでいた。一等客室に乗っていたのは他に、ホーバリ卿夫人セシリーと連れれのベネシア、探偵小説作家の克蘭シー、考古学者のデュボン、歯科医ノーマン。当初、死んだマダムの首にはハチに刺されたような痕があり、機内に紛れたスズメハチに刺されたかと思われた。しかし床から毒矢、ポワロの前の座席から矢筒が発見され、夫人は何者かに殺害されたと判る。

◆雲の中の死

当時は金持ちしか利用できない豪華極まる航空旅客機。雲海を飛び、正に密室と化したその狭い機内で“何か”に刺され死んだ夫人。足元には南米原住民の毒矢、機内にはハチが飛び回り、そしてポワロのすぐ傍には吹き矢筒が…。正に雲をつかむような不可解な現場でいったい何が起きたのか!?

今回は、正確には空路にて発生する殺人ですが、例によって、ポワロが明媚な観光地で起こる事件に巻き込まれるのは、クリスティ作品の定番たる設定のひとつ。行く先々で死体や事件に巡り合う名探偵の宿命は彼とて例外でなく、本話でも、事件発生後に顔を合わせて早々、ジャップが容赦ない皮肉を彼に浴びせます。とは云え、そのスクラムはガッチリ。英仏を駆けるポワロとジャップの活躍は見ものです。

◆隣り合う史実

ニュース・フィルム挿入をはじめ、これまでの諸作からもお分かりの通り、本ドラマシリーズでは物語に現実味をもたらす為、折々に、原作にはない現実の出来事が盛り込まれています。

本話においては、序盤における1935年全仏オープン・テニス。決勝で、イギリスのフレッド・J・ペリーが、ドイツのゴットフリート・フォン・クラムを打ち破り、グランドスラムを達成した大会です。なお本話ではその再現の為に、実際に大会が行われたスタッド・ローラン・ギャロスのコートを使って撮影したそうです。

◆大荷物な手荷物

黒やグレーのいでたちが多いポワロも観光地では白地の服を召し、また物見の為に望遠鏡内蔵のステッキを持ち歩くことが多いのは、本話においても見られる通りです。

しかしながら普段使いでおなじみ、スワン握りの愛用ステッキもこれまた持って行っている様子。殺人の発生前、即ち最初のフランス観光からの帰途、フランスのル・ブルジェ空港での様子に目を凝らしてみますと、空港ロビーおよび搭乗直前の手荷物預けで、望遠鏡、スワン、そして傘をふくめた計三本を抱えている様子が見られます。